

# 寺崎組新聞

発行所 寺崎組新聞社

## 激闘小武川の合戦!

### 風林火山

第48回組会報告

時は平成の世、激動の一年も押し迫り浮世では耶蘇の祭りに浮れている。日、風雲急を告げる甲斐の国は小武川に、各地より寺崎組の荒武者達が騎馬にまたがり馳せ参じた。集まった面々は以下の通り。

- 総大将 寺崎野宿守勉
- 副将 沼海香港守厚
- 副将 小室五々便守建一(新参者)
- 副将 庄司大工守孝信
- 腹 前原地下鉄守弘之
- 腹 河原田親父守弘雄
- 伏 佐藤荷崩守洋光
- 復 阿南嫁は石仏守幸治と崎男真郷丸

暮れゆく山並に赤々とかがり火を灯し、敵の夜襲を警戒しつつ互いの武運を祈って酒をくみ交わす、そこへ敵の騎馬武者(実は単なる通りすがりの一般ライダーだった)という話もあるがそれは敵の謀略である。我が陣に迷い込んで来た。一同太刀をとり有無をいわさず「でえーい」と斬りつける。敵は「や、やめて下さい!!」と悲鳴を上げ、ほうほうの体で退散していった。見たか寺崎組の底力を。

夜は更けて行き、沼海香港守がほうとう鍋を仕込み、皆それぞれに飲み進める内に、何処かより「懐かしのフォーク特集」なるものが流れて来た。皆我も我もと歌い始め、一同の意気は大いに上がる。しかし明日の戦いにはまだ手勢が足らぬ。そこで伊勢の国へと早馬を飛ばすと名門伊藤家より、兄弟打ち揃ってすさまじい夜の仲仙道を駆け上がって来るとの返答、頼もしい限りである。



上●メンバーの中一発撃つにぞいんは真紀郎丸、おんいカブトは焚火ど燃やしたのが、真紀郎丸だけ家土着とて持帰る、花のた



左●沼海香港守とさくらりの因

左●飯味ちんちんまろろエエイオ

今夜明ければ山は雲に隠れ、空も荒れ模様となる。とにかく腹が減っては戦は出来ぬ。夜半に到着した伊藤兄弟より、すかさず極上の松阪牛がふるまわれた。何故か阿南嫁は石仏の守は真郷丸に「良いか、これは肉では無いぞ。松坂くんという別の食べ物なぞ、肉というのはいつも我が館で食しておるもの事であるぞ。心しておけ」と言い聞かせている。腹ごしらえが終われば各自鎧、兜を身に着け「東京スポーツ」とか「夕刊フジ」とか書いてあっても気にしてはいけない。後は出陣の時を待つばかりである。ここで何故か突然、一同は武田方と上杉方とに別れてしまい、静かな小武川の清流を血に染めた壮絶な戦いが繰り広げられた。山合いにこだまする関の声、朝陽にきらめく白刃。通りかかった山仕事の民は「この暮れの忙しい時に、何やってんだこいつらは」という眼で見ているが、そんな事を気にしては戦に勝てぬ。最後は黒幕、沼海香港守を両軍揃って討ち取り、ここに平成小武川の合戦はその幕を閉じたのであった。

帝都高速交通営団よりお知らせ  
来る96年3月26日 駒込、四ツ谷間(7.1km)が開業します。途中後楽園、飯田橋、市ヶ谷を通ります。便利で早い営団地下鉄を宜しくお願いします。

TW組 キャンプ宴会  
去る8月5日、ざ・TW組の第3回全国集会在長野県は太平峠のキャンプ場にて行なわれた。初のキャンプ宴会であった。今回は静岡、千葉、徳島、栃木、埼玉、大阪、京都、横浜からの12名が集った。野宿旅のベテランからテント泊初体験者まで様々の参加者が夜更けるのを忘れて飲み食い話した。翌日は全員で近くの温泉へ向かって走行中に、林道の側溝へ脱輪し往生している乗用車に遭遇し、これを救助した。温泉に入った帰りに先の乗用車のおじさんからの御礼金で皆で茶を飲んだ。解散後、柳沢はそのまま夏休みのツーリングへ突入し、無計画のままにTWを岐阜県へ向けたのであった。



酔ってクラツと  
第四十七回組会報告  
倉戸山  
去る十一月二十五日、奥多摩は倉戸山にて第四十七回組会が開かれた。高齢の進む寺崎組組員にとって山はきついわらぬ。前年度はわずか5名へだったから稜線すたい、やっばりジジババがマッパのタイムは七〇分、荷物満載でも一時間半もあれば着くはず。いつものように酒食糧等で一杯のザックを背負い、私は高尾の家を後にした。登山口に到着し、税金が一人ずつ準備をして登るのを躊躇していたのだ。しばらくするとナース青木を助手席に乗せたヨッパライ金子のタットラが上りてきた。今回の金子さんはちよつと違う。組登山には全て参加しているのだから、それを見かねた組長がお古のリュックをザックをあげたからだ。そして4人で少し組長達を待つことになった。まさか自分(組長)が地図を書いたときながら、変な方から来たであろうと思いつたからである。買った酒の味見(?)などしたり、胃メシを食ったりしているうちに2台のバイクが上がってきた。明らかに組員風なのだが話す間もなく登って行ってしまった。一時半頃、待つのをあきらめた。体力に不安のある人が約2名いるし、反対側からの可能性が大となってきたからである。さて登山開始。始めは階段だが、す

くは登山道となる。いきなり約2名が遅れ始める。初めのうちは待っていたが、たどり着いたらすぐ出発と2名に「おはようございます」といって、税金も遅れが目立ち始め、結局一人で登山することになった。約七〇分、マッパのタイム通り、やっばりつけなく頂上に着いてしまった。山頂には、やっばり反対側から登ってきた組員達4名がいました。沼海さんと、前日から沼海家に行っていた自衛隊北脇、ヘルパーあんどカメラマンとして雇われた55便小室さんである(彼は後の小武川でめでたく組員になり200号というメモリアルナンバーを手に入れるのであった)。組員達は上野原から近いのと駐車場があるという事で反対側から登ったと言ったのだが、傾斜がきつく手を使っている所もあつたと言った。やはり素直に登る所が一番なのである。そして途中で抜いてきた怪しい(どっちが怪しいんだ)バイクの二人組も登って来たがやっばり組員だった。一人は38号半魚人金子さん、ガツテンダ山岸さんの奥さんでリビート久美と呼ばれていた山岸久美さんの弟です(わからん人は組長の日本一周第二巻ランブルスペシャルを見よう)。もう一人は93年にモンゴルに行つてモンゴルで192号となった湯本さんである。少しすると税金が上がってきた。しばらくして金子さん、青木さんが上がってきたのである。ザックが良くなつても基本的に体がアルコールにやられ過ぎていて、時間にはたいして影響ないようである。

しかしこの山、日帰り登山者はいのだがマウンテンバイクまでいるとは。こんな山を南アルプス縦走並の荷を担いで登る私達は何者なんだろうかねえ。

自転車も他の登山者もいなくなった夕方、寝床作りになる。低山とはいえない。意外と多人数(それでも10人だ)なので組長の宴会テント(ダンロップ6人用)に入りきれそうもないので青木さんのテントとドッキングさせる。青木さんのテントはダックスツリーリングメント3人用なので窓口が広くくつつけるには都合がよい。多少話は遠くのもの、いつもの様に夜は更けてゆくのであった。

草原、遥かなり。

第七回 寺崎 勉

パヤンホルゴルの町に近づく、道は良くなる。とはいつても、何本もあつた道を一本にたばねて整地してあるだけだ。

普通のズボンとシャツを着たモンゴル人の男が二人、そして厚化粧の女。飛行場の脇を通過してガンリンスタンドへと向かう。

スタンドではまた人だかりとなる。ガンリンは10リットルから5リットル単位でしか売らず、どうしても入りきらないガンリンが出る。

寺崎 J-king 犯行現場で あなたも見た人がいるのですよ どれに...

夕暮れが迫り来る溪谷沿いの道を北へと進む。透明な川を渡れば、道は丘へと続き、丘の上に奇妙な岩の林。

11月某日YSP鶴見店にて... 柳沢「その後、TWの生産中止の話はありますか...」

恐竜家族 毎週土曜日18時50分より(関東) NHK教育で放送中の「恐竜家族」はUSA製のコンピュータドラマです。

黙秘します 何?

組会ばつくれ旅行記 自衛隊 北越 8月17日、夜明け前に目が覚めた。時計を見るとまだ4時過ぎである。

TWは現役!! TWの生産中止の話はありますか... TWの現役について...

恐竜家族 毎週土曜日18時50分より(関東) NHK教育で放送中の「恐竜家族」はUSA製のコンピュータドラマです。

黙秘します 何? 黙秘します

人が大切に管理してくれてるのだらう。川がせせらぎなど聞きながら、都会に帰るのが嫌になってくる。

お知らせ 月刊「別冊モーターサイクリスト」二月号(一月十五日発売)の「我ら10万kmクラブ」に酔い払いの金子のGX400が登場する。

仕事大募集 当方40才、男、北海道出身。仕事経験豊富。ITスキルあり。

仕事大募集 当方40才、男、北海道出身。仕事経験豊富。ITスキルあり。

第四十九回組会詳細決定 二月二十四日正午、ヤシロウOK決定。R407詳馬・埼玉県境、利根川、刀水橋埼玉側集合。

今日の新人紹介 小室健一。BONBANGONNANKEDO KOMUCHI。バイクはGPZ400S 趣味はカラオケ、パソコン、自転車、小室健一。

仕事大募集 当方40才、男、北海道出身。仕事経験豊富。ITスキルあり。

お知らせ 月刊「別冊モーターサイクリスト」二月号(一月十五日発売)の「我ら10万kmクラブ」に酔い払いの金子のGX400が登場する。



寺崎 勉